

いんしゅう鹿野 まちづくり協議会のプロフィール

自分たちのまちは自分たちで良くしようと思っている。それがまち協。

「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の誕生

平成6年鹿野町は「祭りの似合うまち」をめざし、街なみ環境整備に取り組み始めました。平成8年には公的空間である道路等を整備。行政の活動に住民も呼応し、平成13年10月にそれまで各グループで活動していた多くの住民・グループが集まり、「いんしゅう鹿野まちづくり協議会」を設立しました。設立のきっかけとなったのは、協議会の母体となったグループが平成12年8月に鳥取県が実施した「鳥取県街なみ整備コンテスト」において「いんしゅう鹿野童里夢（ドリーム）計画」を提案し、最優秀賞を受賞した事です。平成15年2月にNPO法人を取得しました。

主な活動

- 景観事業 「藍染め暖簾」「屋号瓦」等の軒下演出
- 賑わい事業 「いんしゅう鹿野盆踊り」「虚無僧行脚」等の賑わいづくり
- 空き家活用事業 「ゆめ本陣」「夢こみち」等の空き家活用
- 研修事業 「鹿野まちづくり合宿」等の地域づくりを考えるフォーラム開催
- 地域連携事業 地域の団体等と連携する「いんしゅう鹿野・地域連携プロジェクト」
- 交流事業 全国の地域と交流し、学び、助け合い、共動する事業



会の目的

私たちは、先人が歩んできた歴史を深く認識し、生きる活力を後世に繁栄するため、すべての立場の住民が一体となって住んで誇りに思えるまちづくり、心が通う人づくりの振興を行う。

目指している事

私たちは鹿野を魅力ある地域とする為に、地域文化やまちなみを活かした活動を継続して行っています。平成16年鳥取市と合併し鹿野町役場が無くなる事になりましたが、まちづくり協議会で話し合われたことは、役場に代わって地域を支えられる存在となれるように頑張ろうという事でした。

鹿野には特別な観光地、お宝はありませんが、歴史と文化、昔ながらのまちなみと田舎の風景があります。そして来訪された方々を心からもてなす、地域を大切に想う人々がいます。地域の魅力と人々の努力で、以前のような商業的な賑わいを創り出したいと考えています。

私たちは、子どもたちが好きなまち、将来出て行ってもまた帰って来なくなるふるさと、そんなまちを作りたいとの思いから出発しました。それにはまず住んでいる自分たちが楽しく、心豊かに暮らせるまちである事が大切だと考えます。

私たちはこれからもまちなみを守り、地域資源を活かし、さらなる賑わいと新たな地域文化を創り出す事で、地域の人々が喜びを感じ、鹿野を訪れた方々に昔ながらのふるさとを感じていただきたいと考えています。



例会「夢会」の様子

組織・体制・会則等

- ◆会員：約40人(ほぼ町内)
- ◆応援団会員：約80人(町民・鹿野町出身者・鹿野愛好者)
- ◆構成：理事長1人、副理事長2人、理事8人、監事2人
- ◆例会：夢会…毎月第三土曜日に集い、まちづくりの取り組み等の協議をしている。
- ◆年間事業費：約2,500万円(平成22年度)
*会費：12,000円/年・人
応援団会費 1口5,000円、2口10,000円の2種類
(2口の場合は約半額相当をふるさと小包として発送)
*「ゆめ本陣」での売り上げ手数料、施設利用料等
*「夢こみち」売り上げ
*空き家の活用収入 *受託事業等 *補助事業等

表彰・受賞

私たちは受賞を目指して活動しているわけではありませんが、賞をいただく事は大きな励みにもなり、地域の皆さんに報告することもとても嬉しい事です。積極的に受賞を目指して申請しているわけではありません。どちらかという周りから持ち上げていただいている感じがしています。これからも日々の活動を通じて、地域に良き報告ができればと考えています。



平成19年総務大臣表彰

表彰・受賞 年表

- H16 中国地方整備局「夢街道ルネサンス」鹿野往来として認定
- H18 国土交通省「手づくり郷土賞 地域活動部門」受賞
- H19 地方自治法施行六十周年記念式典にて総務大臣表彰
- H20 都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」受賞
- H22 国土交通省「手づくり郷土賞 大賞部門」受賞
- H22 公益財団法人あしたの日本を創る協会「あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣官房長官賞」受賞
- H23 「鳥取県地域づくり大賞」受賞
- H24 住まいのまちなみコンクール「住まいのまちなみ賞」受賞